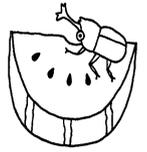




KUNERUASOBI



あきやま保育室 令和5年8月号

先日の縁日では、お忙しい中、たくさんのご家庭にご参加いただきありがとうございました。今年も、昨年度までの感染症に関する制限がなくなり、ケアルームの親子やご祖父母さま・同マンションの居住親子の参加が増えたことに、とても嬉しく思いながら開催しておりました。5歳児のあけびさんとケアルームの年長さんには、お神輿の練り歩きや1時間半に及んだ出店の店員役も立派に行う姿に成長を感じた一日でもありました。そして、年長児の保護者の方もお昼過ぎから暑い中、出店のセッティングのお手伝いに来てくださり誠にありがとうございました。翌週も遊びの中で、「わっしょい！わっしょい！」と子ども達の元気な声が聞かれ、パパやママと過ごした楽しい縁日が心に残っているようでした。

☆保育室の生活どうして？シリーズ☆

その138. 年長児の交流

先月、保育室とケアルームの年長さんの10名でお泊り保育を行いました。このお泊り保育もずいぶん定着してきて、以前の保育ビデオを観て予習？！をしている子もいたようで「ごはんは、カレーライス食べるんだよね！」「よるはゲームするんでしょう！」と、期待を持って当日を迎える子が多かったです。ケアルームの2名の子も緊張するのかなと思っていたら、とてもリラックスしながら過ごしている姿をみて大人が少々驚いた程です。

年長さんになると、保育室とケアルームでの合同の活動が増えてきます。その為、新年度が落ち着く5月頃より、ケアルームの子が保育室で過ごすだけでなく、あけびさんがケアルームのお部屋に行き、ケアルームの子どもたちと遊ぶことを定期的に行っています。一緒にリズムに合わせて身体を動かしたり、手話を取り入れながらフルーツバスケットをして楽しんでいます。その中で、自然と互いの存在を認識し、相手のことを気にかけて行動したり名前を呼んで過ごす姿が見られるようになってきました。ケアルームの子どもたちも、お泊り保育で見せてくれたあのリラックスした姿に、その積み重ねが活かされていることを実感し嬉しく思いました。

文責：高橋

あきやまケアルームです！！ 8月

7月はケアルームの年長さんにとってはお泊り保育や縁日のお店屋さんをしたり、年長さん以外もシャワーやプールが始まったりと盛りだくさんな1ヶ月でした。5月の連休明けから、保育室のお友だちと交流保育をしていたこともあり、お泊りはあまり緊張することなく参加することができました。一緒に夜ご飯を食べたり、お友だちと一緒にかるた取りをしている姿は本当に楽しそうに終始笑顔が見られていました。夜もいつもと違う環境でもぐっすり良く眠れていて、環境の変化にも強くなってきたことを実感しました。縁日では、年長さんはお神輿を担いで練り歩きをする大役を見事に果たしてくれました。終わってからお家に帰ってからも縁日で選んだうちわを見て楽しんでいと教えてもらいました。シャワーで水着を着る事を練習したりお風呂とはまた違った、水着が濡れる感覚を覚えたりと新しい刺激に毎日触れた7月だったと思います。まだまだ暑い日が続くと予報されています。ケアルームのお子さん達は、食事もしっかりと食べて夏バテに負けずに登園してきてくれています。今後も体調不良により注意してケアをしていきます。



文責 河村

